

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成13年8月6日 第19報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(藍) <i>Oscillatoria Kawamurae</i> *	18		
(珪) <i>Navicula</i> sp.	10		
(珪) <i>Gomphonema</i> sp.	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	40		
(み) <i>Trachelomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Elakatothrix gelatinosa</i>	10		
(緑) <i>Oocystis solitaria</i>	10		
(緑) <i>Scenedesmus grahneisii</i>	40		
(緑) <i>Cosmarium</i> sp.	10		
(藍) 藍藻綱	18	10.1	99.5
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(珪) 珪藻綱	30	16.9	0.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	0	0.0	0.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	40	22.5	0.1
(み) みどり虫藻綱	10	5.6	0.0
(緑) 緑藻綱	80	44.9	0.4
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	178	総体積	6.51E+07
種類数	11	(μm^3)	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

動物プランクトン

第1優占種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Nauplius</i>	80

第2優占種	個体数 (個体/l)
甲殻類 <i>Bosmina longirostris</i>	20

*個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

植物プランクトン第1優占種



***Cryptomonas* sp.**
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんでいる。
等長の2本の鞭毛を持つ。

動物プランクトン第1優占種



Nauplius
(ノウプリウス)
甲殻類

ケンミジンコ等のミジンコ類の幼生。
中央に円盤状の口を有する。

コメント:

植物プランクトンはクリプトモナスやセネデスムスが細胞数としては多かったが、体積量としてはアオコの原因となるオシロリア カワムラエが最も大きかった。動物プランクトンは少なかったが、ノウプリウスが80個体/lで優占種となった。